



大腸がん検診

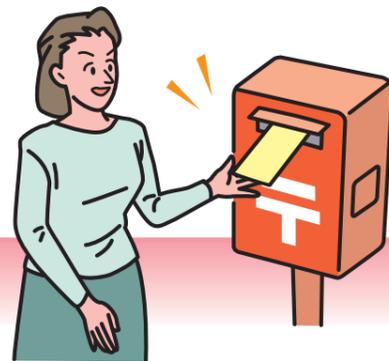
近年急増中の大腸がんですが、早期に発見できればほぼ100%完治します。早期の場合、一般的に自覚症状はありません。この自覚症状のない時期に発見することがその後の完治の重要なポイントになります。この機会に大腸がん検診を受けましょう。

●大腸がんになりやすい人チェック

- 運動不足
- 赤身の肉や加工肉（ベーコン、ハム、ソーセージなど）をよく食べる
- 野菜を食べない
- 飲酒量が多い
- 親族で大腸がんになった人がいる

1つでも当てはまる場合は、検診を受けることをお勧めします。

【大腸がんと子宮頸がんは検診で早期発見が可能です】



子宮頸がん検診

子宮頸がんの高リスクの一つは、ヒト・パピローマ・ウイルスの感染といわれています。ヒト・パピローマ・ウイルスは、子宮頸がん患者の90%以上から発見されています。また性交渉で感染するので、性交渉の機会が増えると感染リスクも高まります。予防すると共に定期的に検診を受けることが大切です。女性としては気になる場所ですが、病院に行くのはちょっと恥ずかしいと思っている方も多いと思います。郵送の子宮頸がん検診では、ご自宅で簡単に検査することができます。この機会をぜひご活用ください。

郵送による子宮頸がん検診は今年度で最後になります。来年度からの事業の見直しを行った結果、今年度で終了することになりました。

●子宮頸がんになりやすい人チェック

- たばこを吸う
- 低年齢での初交
- 性的パートナーが多い
- 多産
- 性行為感染症にかかったことがある

1つでも当てはまる場合は、検診を受けることをお勧めします。



郵送検診のご案内

～大腸がん検診&子宮頸がん検診～



がんは早期発見・早期治療が大事だという話はよく耳にしますね。ただ日頃、仕事や家事が忙しく、気になっていてもなかなか病院に行けないという方も多いと思います。この郵送検診は忙しい方でもご自身で検査して、検査機関に直接送るといった簡単な方法で検査することができます。

症状があらわれてから検査を受けて、がんが発見された時にはかなり進行していたという場合も少なくありません。自覚症状のない今のうちから、この機会を活用して定期的に検診を受けることをお勧めします。

10月初旬にご自宅へ案内をお届けします

	大腸がん検診	子宮頸がん検診
対象者	全被保険者	30歳以上の女性被保険者及び被扶養者
実施期間	10月～12月末日(8月末日在籍者に対して案内を発送します)	
費用負担	全額健保負担(自己負担はありません)	

早期発見でがんを防ごう!

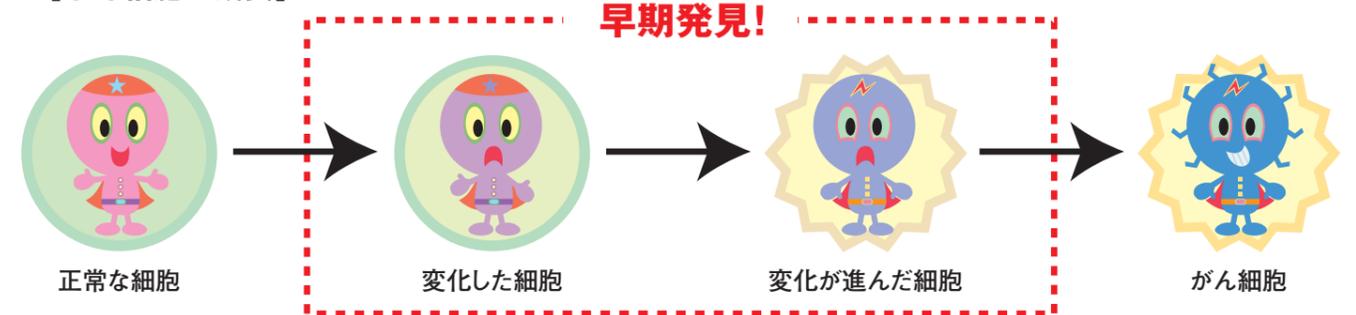
がんは、なんらかの原因で正常な細胞が変化してがん細胞になります。

がん細胞になる前の、変化し始めた細胞を見つけて治療できれば、がんを防ぐことができます。

大腸がん検診は、まず大腸からの出血の有無を確認します。出血が認められた場合、大腸カメラ等で腸の壁を直接見て、ポリープ等の細胞の変化をチェックします。したがって大腸がん検診の場合は、出血が認められたら病院を受診し二次検査(医師の判断により大腸カメラあるいは注腸検査)を受診することがとても大切です。

子宮頸がん検診は、子宮の入口から採った細胞を顕微鏡で見て、細胞の変化をチェックしますので、早い時期に細胞の変化をキャッチすることが可能です。

[がん細胞の成長]



正常な細胞

変化した細胞

変化が進んだ細胞

がん細胞

SGホールディングスグループ健康保険組合の現勢

(平成20年8月末日現在)

●被保険者	
男	42,356人
女	7,727人
計	50,083人
●被扶養者	
男	19,966人
女	38,144人
計	58,110人
●扶養率	1.16人

- 23 佐川急便瀬戸内パーク
- 22 10月は健康強調月間です!
- 20 平成19年度 決算概要報告
- 19 体もよろこぶ野菜たっぷりヘルシー料理
- 18 子育て 親育ち
- 16 バズル・詰碁・詰将棋
- 15 晴れときどき曇り
- 11 知っておきたい健診豆知識
- 10 さよならメタボー生活習慣改善大作戦
- 8 育てて 楽しむ グリーンライフ
- 6 お散歩日和
- 4 「ライオサポート倶楽部」のご案内
- 2 郵送検診のご案内



目次 健康保険組合だより